

旧北炭鹿ノ谷倶楽部活用事業者選定委員会 会議録

日 時：平成21年4月17日（金）13：45～

場 所：夕張市役所5F委員会室

出席者：（委員）木幡委員長、角幸博、青木隆夫、高村健次、源藤隆一、芝木誠二

（事務局）石原室長、千葉主幹、高野主幹、佐藤主幹、鈴木主事

佐藤主幹）提案をしていただき、その後に質疑を行いたいと思います。

（株）テクノ提案

提案者）旧北炭鹿ノ谷倶楽部の再生計画案として、建物の保存がすべてだと思っていますし、しっかりと保存することが、私ども応募する者に課せられた1番の使命だと考えています。そのためにも土台関係と軒先をしっかりと見直す。建物の左側もできるだけそのまま残し、将来的には合宿所として使いたいと思っていますが、かなり傷んでいるので1年後の課題としました。当社の1級建築士が2度3度と見ていますし、順序をつけて改修していけばそんなに大きな負担にはならないと考えていますが、建物全体を見直すように要望されたら、残念ですが辞退しないといけなと思っています。

私は自然が好きなので、こちらで行われている植樹祭にも参画させてもらいたいと思っています。今は薔薇に凝っていて、自宅には500本の薔薇を植えていますが、満開に咲いた時のきれいさは最高でございます。全国にオーナー募集して、夢は10000本ですが、5000本あったら庭がきれいに見えると考えています。

前回は応募させていただきましたが落選しまして、その時から思いを馳せていた施設です。途中で投げ出さずに最後まで自分の力でやり遂げたいという気持ちでいますので、貸与ではなく譲渡しか考えていません。企業が頂くとすると最低でもプラスマイナスゼロ、1円でも黒字を目指すのが義務だと思っていますので、そのためにも無償譲渡を希望します。

本社は小樽市ですが、人員はできるだけ地元で採用したいと考えていますし、皆さんの知恵を借りながら、絶対に再生するという心構えでいますので、よろしく願いいたします。

質疑応答

委員） 貴社に1級建築士と大工がいるということですね。

提案者）当社にもいますが、できるなら地元の方に協力してほしいと思っています。

委員） 最終的には合宿所を目指すということですが、収入は見込めるのですか。

提案者）合宿所だけでは厳しいと思います。和を基本として建物を活用し、旅行会社とタイアップして観光客を呼び込みたいと思っています。

委員) 小樽の施設も無償譲渡だということですが、2年間の改修経費はどのくらいですか。

提案者) 外注であれば1500万円~1800万円だと思いますが、直営で行ったので1000万円くらいです。

委員) 薔薇園を作りたいということですが、どの辺に作るイメージでいますか。

提案者) 麓から山にかけて植えたいと思っています。有料となると5000本では足りないと思うので、最終的には10000本は植えたいと考えています。

委員) 施設を活用するにあたって、貸与よりも譲渡が希望ということですが、例えば、検討した結果、貸与という提案をしたらどうしますか。

提案者) 今の段階では、貸与はまったく考えていません。

委員) 暖房に廃油を使うとなると、専用のボイラーを設置することになるとと思いますが、ボイラーは大きいのですか。配管も含めての改修になりますか。

提案者) ボイラーは暖房だけですからそんなに大きくはありませんが、配管の改修は若干必要だと思います。

委員) 土台の改修ですが、どの程度の改修を考えていますか。

提案者) 外から見ただけですが40本くらいだと考えています。

委員) 別館の計画はどう考えていますか。

提案者) 向かって左側は合宿所に活用したいと思っています。残すことの難しさはわかっていますので、残せるなら残したいと考えています。

委員) 宿泊に使うスペースはどこを使おうと考えていますか。

提案者) 左側のエリアで考えていますので、本館を宿泊に使う考えはありません。

委員) レストランは宿泊客用というよりは、外から来たお客さん用に考えているのですか。

提案者) そうです。

委員) お客様には食を売りますか、雰囲気売りますか、時間を売りますか。

提案者) 雰囲気です。和もあり洋もある施設ですが、和を基本にして雰囲気売ります。何人かの市民に聞いたのですが、この施設は見たことがないと言われ、夕張市民にとっては高貴な建物なんだと思いました。市民に開放しなければ、いくら外部の人に来てほしいと言っても無理だと思いますし、来ていただけるなら和洋折衷でやりたいと思います。

委員) 市民に開放するという話がありましたが、募集要項にもある市民参画についての具体的な考えを聞かせてください。

提案者) 小樽の施設で光の広場というイベントを行い、その時に作っていただいたローソクを寄贈したことがあります。夕張市民の皆さんにもいろいろなアイデアがあると思いますので、そのアイデアをどんどん出してほしいと思っています。

委員) 市民団体から使わせてほしいと具体的に話があった場合は、相談に乗っていただけますか。

提案者) そうなることを1番願っていますし、夕張市民の方から活用したいと言っていただけ

るのは大歓迎です。

委員) 集客方法について、今のところの考え方を聞かせてください。

提案者) 旅行会社とのタイアップは考えていますが、今のところ独自の方法は考えていません。

委員) 計画案を軌道に乗せるまでには相当な投資が必要だと思いますが。

提案者) (株) テクノの本体を揺るがすようなお金はかけませんが、協力は惜しみません。初期投資分は営業で回収しますし、回収できる自信はあります。

委員) 応援団的な組織を立ち上げたいという市民有志がいますが。

提案者) 目標が違うのなら考えないといけませんが、同じ目標であれば大歓迎です。

委員) 譲渡の希望金額が記載されていますが、無償とした根拠はありますか。

提案者) 無償譲渡であれば譲渡費用がかかりませんので、別のことで恩返しができると思っており、施設での市民参画等で使っていただけるように 100 万円の寄付をしたいと考えています。

委員長) 1 時間以上にわたりありがとうございました。

選定協議開始

委員長) それでは選定協議を開始します。まず、最初に寺田氏の申し込みについてですが、今回のプレゼンテーションの不参加、必要書類も揃っていないということを考えると、今回は評価の公平性が保たれないと思いますが、どうですか。

一同) 評価しないということで了承。

委員協議) 第三者への転売をしないことや、魅力ある景観が形成されるような配慮、保存に対して学識的観点の考慮が示されている。建物の価値の PR や啓発、市民の雇用にも配慮され、市民参画についても図られている。何よりも、保存していくという考え方が示されているので、(株) テクノを選定事業者にすることで決定する。